

2013年9月期連結決算

2013年10月31日

株式会社三菱総合研究所

1. 2013年9月期決算

2. 2014年9月期業績予想

2013年9月期連結決算のまとめ

売上高：811億円 前期比+57億円(+7.6%)

- メガバンク、カード向けソリューション売上伸長
- シンクタンク・コンサルティング事業は横ばい

営業利益：53.7億円 前期比+22.7億円(+73.7%)

- 増収効果に加え、一過性要因により大幅増益
- 不採算案件は前期引当金内で完了

当期純利益：28.8億円 前期比+17.4億円(+152.9%)

- 前期の特別損失、税制改正影響の解消

期初計画を上回る結果で、期末配当を5円引き上げ

2013年9月期連結決算

(百万円)

	12年9月期	13年9月期	対前期比		直近公表値 (13年7月)	公表予想差
			増減額	増減率		
売上高	75,365	81,127	+5,761	+7.6%	80,800	+327
売上原価	60,943	64,068	+3,125	+5.1%	—	—
売上総利益	14,422	17,059	+2,636	+18.3%	—	—
売上総利益率	19.1%	21.0%	+1.9P	—	—	—
販売費及び一般管理費	11,331	11,688	+357	+3.2%	—	—
営業利益	3,091	5,370	+2,279	+73.7%	5,000	+370
営業利益率	4.1%	6.6%	+2.5P	—	6.2%	+0.4P

●売上高の顧客業種別内訳・対前期比増減理由

(百万円)

	前期	当期	増減額	増減率	増減理由
官公庁	16,868	17,940	+1,071	+6.4%	震災復興(除染、防災)、環境・エネルギー分野が堅調
金融・カード	32,255	36,694	+4,439	+13.8%	メガバンク海外・決済系システム、カード入会審査システム案件等増加
一般産業	26,241	26,492	+251	+1.0%	子会社アイ・ティー・ワン等が堅調

2013年9月期連結決算

(百万円)

	12年9月期	13年9月期	対前期比		直近公表値 (13年7月)	公表予想差
			増減額	増減率		
営業利益	3,091	5,370	+2,279	+73.7%	5,000	+370
営業外損益	170	195	+24	+14.5%	—	—
経常利益	3,262	5,566	+2,304	+70.6%	5,190	+376
特別損益	△388	△47	+340	—	—	—
税金等調整前当期純利益	2,873	5,518	+2,645	+92.0%	—	—
法人税等	1,649	2,199	+550	+33.4%	—	—
少数株主利益	83	434	+350	+419.0%	—	—
当期純利益	1,140	2,885	+1,744	+152.9%	2,630	+255
一株当たり当期純利益(円)	69.45	175.67	+106.22	+152.9%	160.13	+15.54

●特別損益の対前期比増減の主な内訳 (百万円)

	前期	当期	増減額
投資有価証券評価損	△201	△0	+200
事務所移転費用(BPO拠点統合他)	△128	△10	+118

●法人税等：前期は税制改正による影響458百万円含む

●少数株主利益：子会社三菱総研DCS業績回復に伴い増加

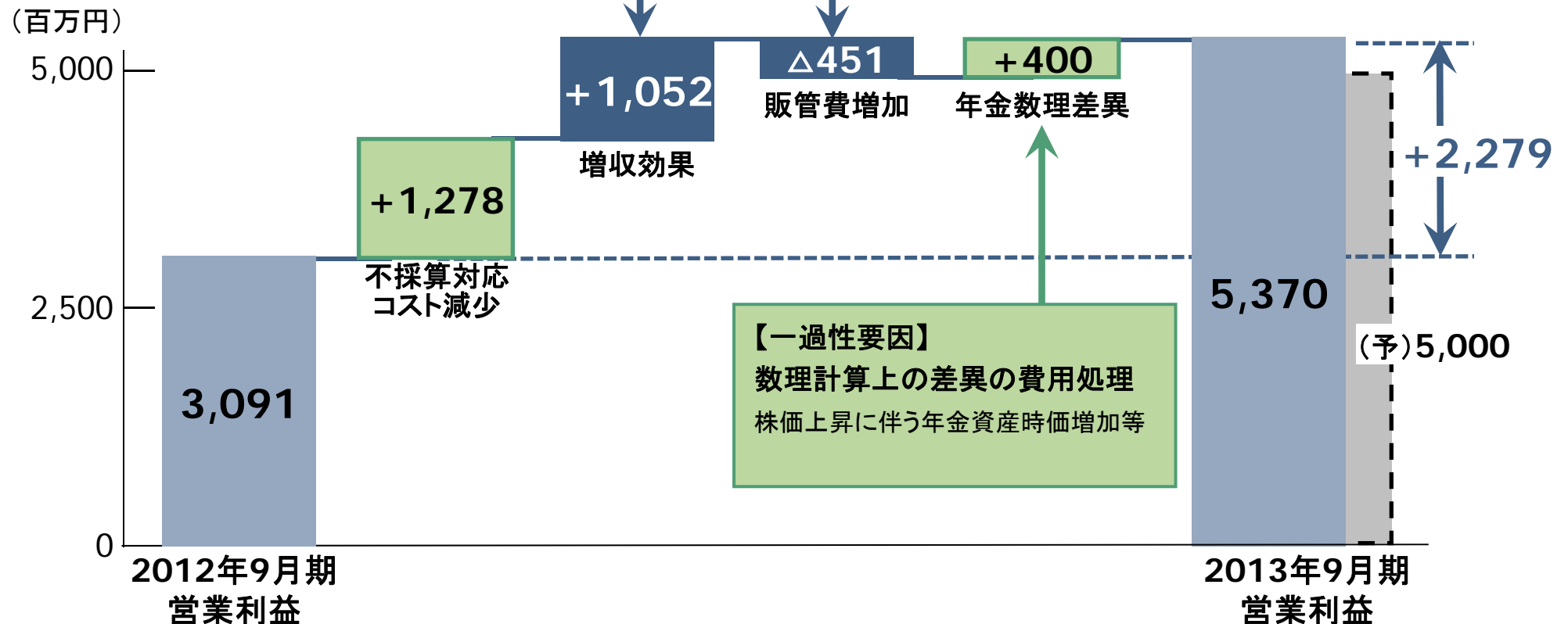
営業利益の変動要因 <前期比>

増収効果

- ✓ 売上増 (75,365→81,127, +5,761百万円)
- ✓ 取引条件、採算はほぼ前年並み

販管費増加

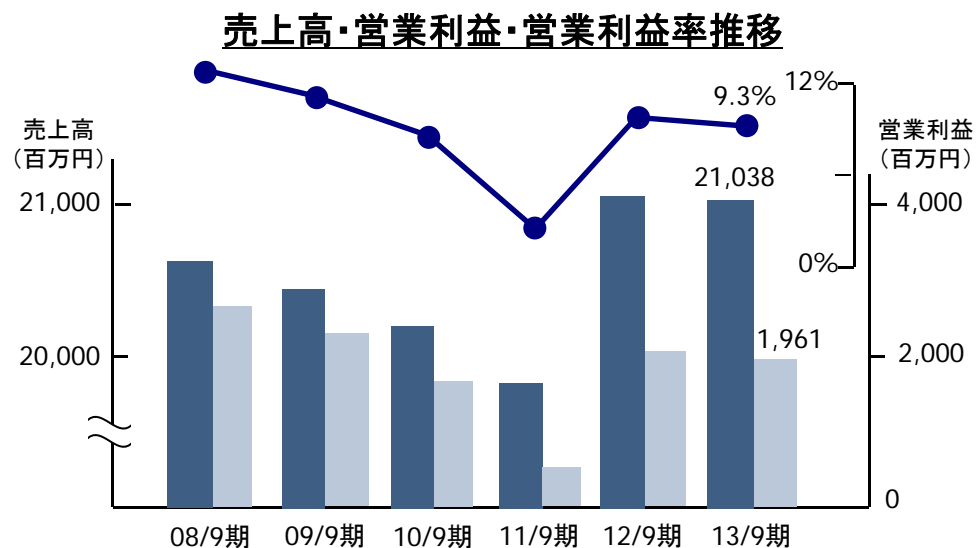
- ✓ 社内システム刷新に係るコスト増 134百万円
- ✓ 施策費用増(業務改善、営業強化) 143百万円
- ✓ 業績連動による賞与増 126百万円



シンクタンク・コンサルティング事業

(百万円)

	2012年9月期	2013年9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	21,079	21,038	△41	△0.2%
営業利益	2,034	1,961	△73	△3.6%
営業利益率	9.7%	9.3%	△0.4P	—



主なポイント

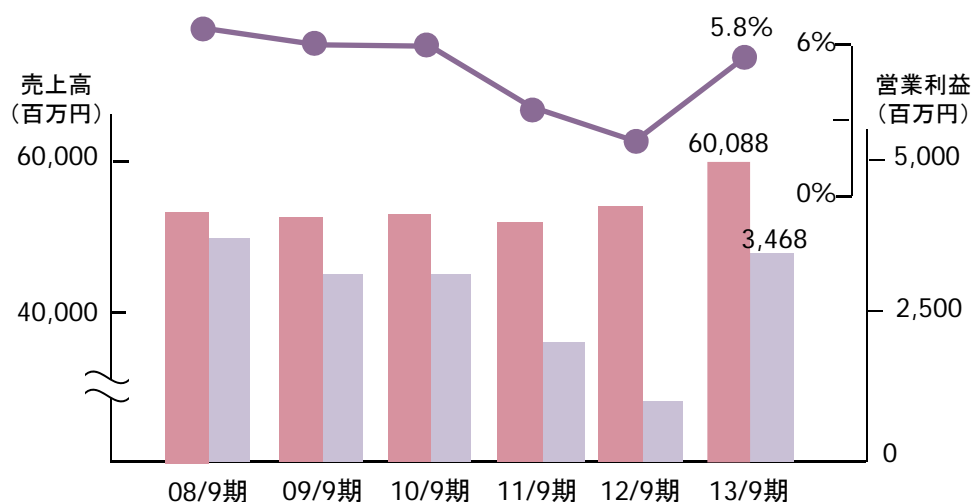
- 政策執行支援(震災復興、エネルギー)で大型売上あり、前年並みの水準
- 採算性改善も、販管費増で利益率低下
- 民間向けコンサル売上計画未達も、コスト削減で利益計画は達成

ITソリューション事業

(百万円)

	2012年9月期	2013年9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	54,286	60,088	+5,802	+10.7%
営業利益	1,159	3,468	+2,308	+199.1%
営業利益率	2.1%	5.8%	+3.7P	—

売上高・営業利益・営業利益率推移

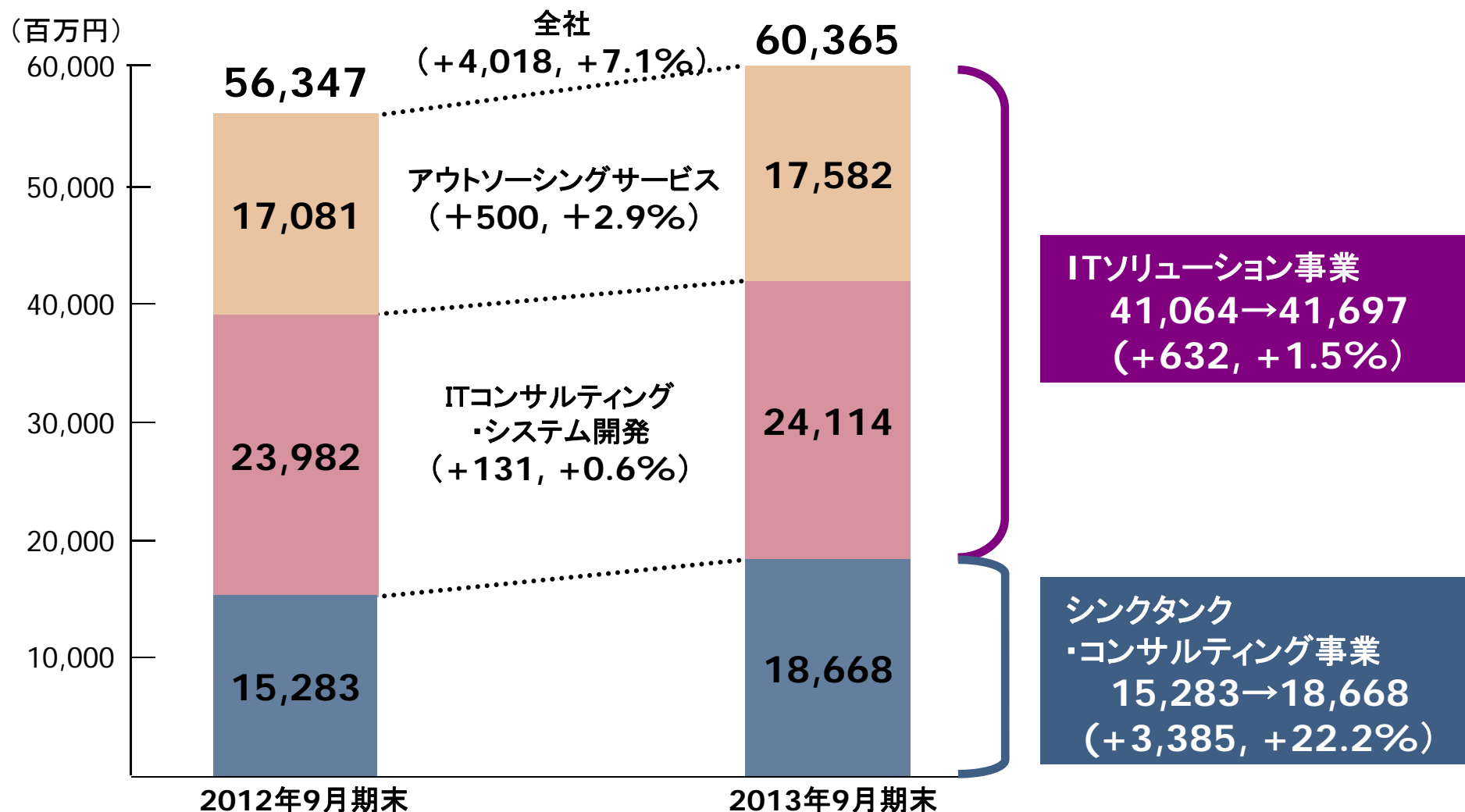


主なポイント

- メガバンク海外・決済、カード入会審査等伸長。官公庁、一般向けも堅調
- 増収効果、一過性要因で大幅増益
- 売上、利益とも計画を上回る(特にDCS)

セグメント別受注残高

2014年9月期売上計画の約7割の受注を確保済み



1. 2013年9月期決算

2. 2014年9月期業績予想

2014年9月期 連結業績予想

売上高予想：868億円 前期比+56億円(+7.0%)

- シンクタンク・コンサルティング：
官市場、調査研究案件堅調。民市場、ACT(実行支援)案件の開拓を加速
- ITソリューション：
メガバンク、カード向け堅調

営業利益予想：55億円 前期比+1.2億円(+2.4%)

- 受注積上げ、売上増による増益
- 販管費は社内情報システム刷新、他先行支出により増加見込

当期純利益予想：29億円 前期比+0.5億円(+1.9%)

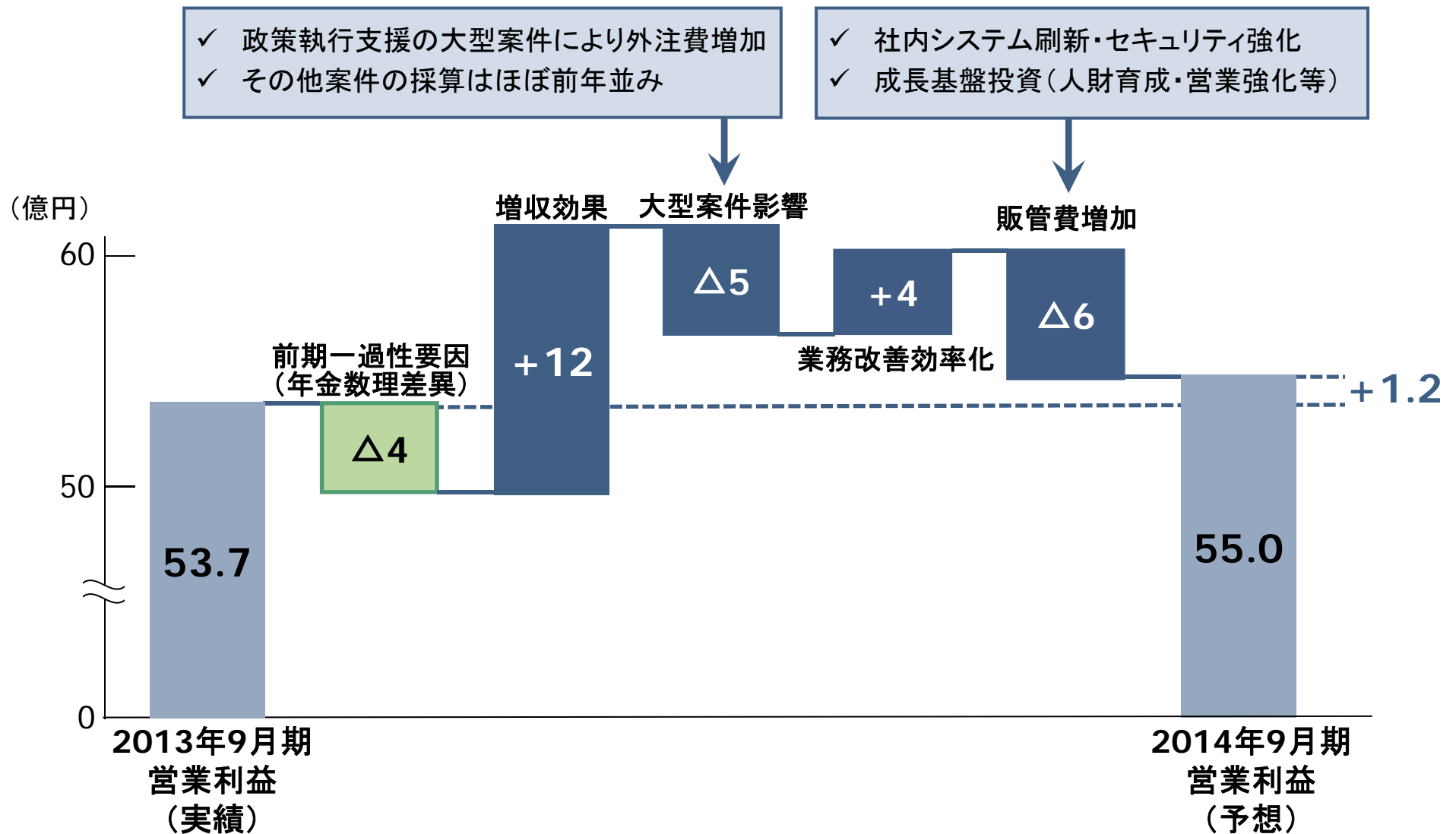
配当予想：40円(中間20円、期末20円) 前期比+5円

2014年9月期 連結業績予想

(百万円)

	2013年9月期 実績 ①	2014年9月期 (予想) ②	前期比	
			増減額 ②-①	増減率
売上高	81,127	86,800	+5,672	+7.0%
シンクタンク・コンサルティング事業	21,038	24,700	+3,661	+17.4%
ITソリューション事業	60,088	62,100	+2,011	+3.3%
営業利益	5,370	5,500	+129	+2.4%
営業利益率	6.6%	6.3%	△0.3P	
経常利益	5,566	5,650	+83	+1.5%
当期純利益	2,885	2,940	+54	+1.9%
1株当たり当期純利益(円)	175.67	179.01	+3.34	+1.9%

営業利益予想 変動要因



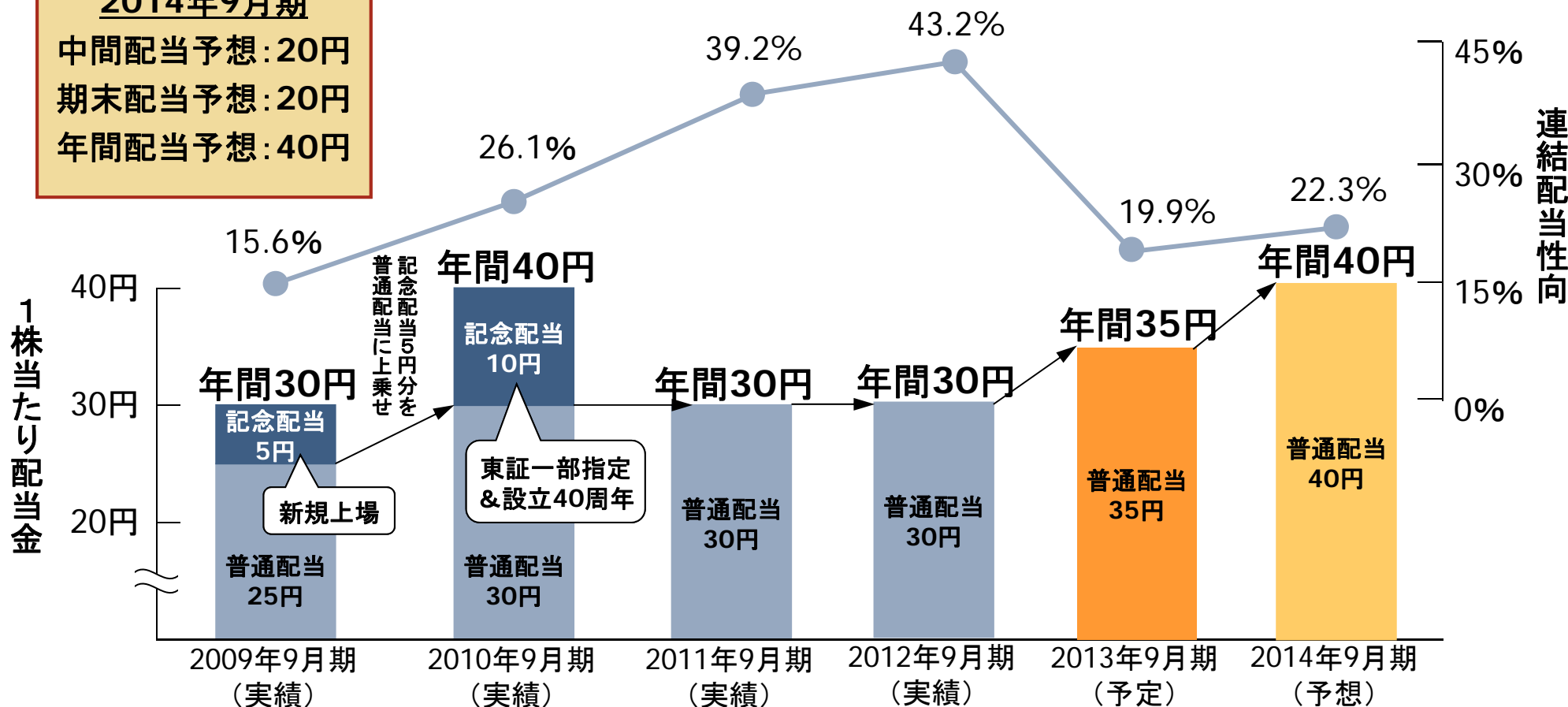
2014年9月期 配当予想

配当方針

安定的な配当を継続的に行いながら、業績や財務健全性のバランス等も総合的に勘案しつつ、配当水準の引き上げを目指す

2014年9月期

中間配当予想：20円
 期末配当予想：20円
 年間配当予想：40円



将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

株式会社三菱総合研究所
経理財務部 IR室

TEL : 03-6705-6001
FAX : 03-5157-2171
E-mail : ir-info@mri.co.jp
URL : <http://www.mri.co.jp/>